

◆研究開発マップの作成内容

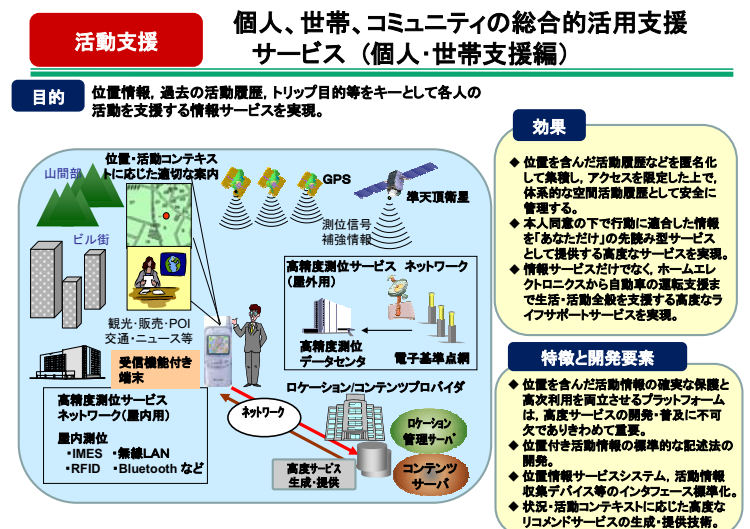
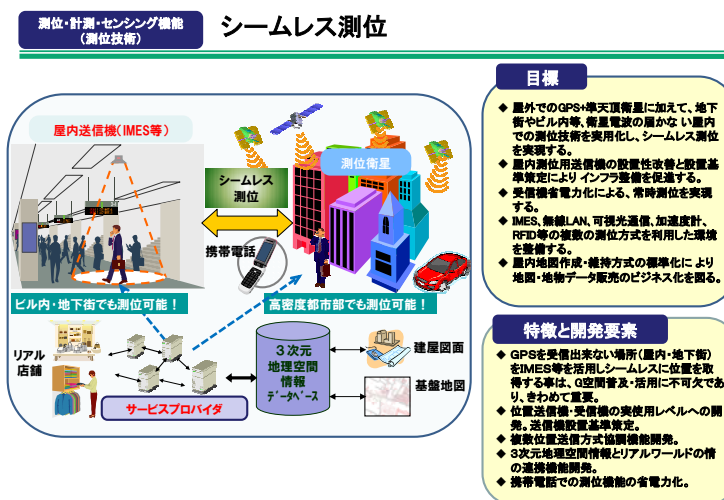
地理空間情報の活用例と、地理空間情報の利活用に必要な技術分野を組み合わせた表を作成し、それに基づき、今後重要と思われる活用例及び研究開発すべき技術について、専門家・実務家へのヒアリング・アンケート調査を実施し、重点的に研究開発を促進すべき「共通基盤技術」(研究開発項目(7分野))をリストアップした。

併せて、「特徴的な活用例」の整理(9例)も行い(表2)、抽出した共通基盤技術及び活用例の分布を「研究開発マップ」として整理した。

表2. 「共通基盤技術」の抽出と「特徴的な活用例」の整理

【縦軸】「共通基盤技術」の抽出(7分野)	【横軸】分野ごとの「特徴的な活用例」のとりまとめ(9例)
○測位・計測・センシング機能	○個人、世帯、コミュニティの総合的活動支援サービス
○通信機能(無線、有線)	○災害・環境分野における活動支援サービス
○時空間情報の検索・処理・分析技術・相互運用技術	○IT 農林水産業支援サービス
○状況理解とサービス生成機能・インターフェース提供機能	○建築・土木等におけるライフサイクル管理支援サービス
○セキュリティ、認証、個人情報やプライバシー保護機能など	○人々の時空間流動特性に適合したマーケティングと広告サービス
○さまざまな実世界現象のシミュレーションとの連携・統合機能	○人、モノのモビリティを支える総合サービス
○位置や対象の表現・識別機能	○新興感染症や食や水の汚染などから健康と命を守る総合支援サービス
	○電子自治体による住民サービス向上と地域活性化の支援サービス
	○観光・不動産開発等による地域活性化の支援サービス

参考 「共通基盤技術」と「特徴的な活用例」のイメージ(例)



※これらのイメージ図は基本的にはアンケート調査結果を基に、内容を理解しやすいように作成したものであるが、一部は今後の発展性も考慮した。